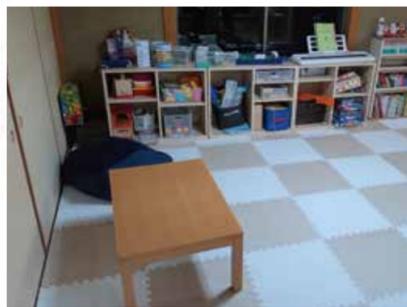




子どもの「第三の居場所」～スマイルテラス～

和歌山市内で 2025 年 7 月に開設した子ども支援施設「スマイルテラス」。家庭や学校以外の“第三の居場所”として、社会福祉法人虎伏学園の運営のもと、公益財団法人日本財団の「子ども第三の居場所事業」の助成を受け、和歌山県では初の取り組みとして始動しました。



子どもたちの遊び、勉強をスタッフがサポート
(画像は一部加工しています)

子どもたちの居場所を受け止める。現代社会には、経済的な困窮や家庭内の不和、保護者自体の社会からの孤立など、様々な理由から「家に居場所がない」「生活リズムが乱れがち」といった悩みを抱える子どもが増えている現状があります。課題は複雑でありながら多層化しており、心理的にも文化的にも、家庭側から支援を求めること自体が難しいという現実もあります。

こうした状況に 대응するため、スマイルテラスは「学校と家庭に次ぐ第三の居場所」として開設されました。主な対象は小学校低学年で、兄や姉にあたる高学年から中学生も利用可能となっています。利用料は無料、1日20名程度を受け入れる態勢で、小規模ならではの目の行き届いた支援が行われています。

現在は和歌山市内7つの校区から14名が通っており、月曜と水曜は13時半から19時半、土曜は9時半から17時半まで、兄弟姉にあたる高学年から中学生も利用可能となっています。利用料は無料、1日20名程度を受け入れる態勢で、小規模ならではの目の行き届いた支援が行われています。

まず1つ目は「安心」。臨床心理士や保育士、家庭支援専門相談員、元教員など専門性を持つスタッフが、子どもたちの気持ちや行動を丁寧に受け止めます。

2つ目は「食事」。偏った食生活や不規則なリズムに陥りやすい子どもにとって、決まった時間に誰かと一緒に食卓を囲む経験は、心身の安定につながります。

3つ目は「生活習慣」。手洗いや挨拶、歯磨きなどを一緒にしながら身につけ、基礎的な生活習慣を整えます。

4つ目は「学習」。元教員や学生アルバイトが宿題を見守り、学習機会の定着と支援を図ります。学習への向き合い方に課題を抱えた子どもへの個別の支援にも対応し、読み聞かせや本の貸出も。

5つ目は「体験」。自然体験、工作や絵画、音楽、調理、運動遊びなど、多彩なプログラムが用意されており、地域行事への参加など、子ども自身の世界を広げる場にもなっています。

6つ目は「居場所」。日本財団による2年の助成期間が終了した2027年度からは和歌山市が県や国の補助を受け事業を継承する予定で、市としても持続的な支援体制の構築を目指しています。

7つ目は「居場所」。日本財団による2年の助成期間が終了した2027年度からは和歌山市が県や国の補助を受け事業を継承する予定で、市としても持続的な支援体制の構築を目指しています。

8つ目は「居場所」。日本財団による2年の助成期間が終了した2027年度からは和歌山市が県や国の補助を受け事業を継承する予定で、市としても持続的な支援体制の構築を目指しています。

9つ目は「居場所」。日本財団による2年の助成期間が終了した2027年度からは和歌山市が県や国の補助を受け事業を継承する予定で、市としても持続的な支援体制の構築を目指しています。

10つ目は「居場所」。日本財団による2年の助成期間が終了した2027年度からは和歌山市が県や国の補助を受け事業を継承する予定で、市としても持続的な支援体制の構築を目指しています。

11つ目は「居場所」。日本財団による2年の助成期間が終了した2027年度からは和歌山市が県や国の補助を受け事業を継承する予定で、市としても持続的な支援体制の構築を目指しています。

12つ目は「居場所」。日本財団による2年の助成期間が終了した2027年度からは和歌山市が県や国の補助を受け事業を継承する予定で、市としても持続的な支援体制の構築を目指しています。

13つ目は「居場所」。日本財団による2年の助成期間が終了した2027年度からは和歌山市が県や国の補助を受け事業を継承する予定で、市としても持続的な支援体制の構築を目指しています。

14つ目は「居場所」。日本財団による2年の助成期間が終了した2027年度からは和歌山市が県や国の補助を受け事業を継承する予定で、市としても持続的な支援体制の構築を目指しています。

15つ目は「居場所」。日本財団による2年の助成期間が終了した2027年度からは和歌山市が県や国の補助を受け事業を継承する予定で、市としても持続的な支援体制の構築を目指しています。

16つ目は「居場所」。日本財団による2年の助成期間が終了した2027年度からは和歌山市が県や国の補助を受け事業を継承する予定で、市としても持続的な支援体制の構築を目指しています。

17つ目は「居場所」。日本財団による2年の助成期間が終了した2027年度からは和歌山市が県や国の補助を受け事業を継承する予定で、市としても持続的な支援体制の構築を目指しています。

18つ目は「居場所」。日本財団による2年の助成期間が終了した2027年度からは和歌山市が県や国の補助を受け事業を継承する予定で、市としても持続的な支援体制の構築を目指しています。

スマイルテラス
〒640-8451 和歌山市中 382-3
TEL: 073-498-7319
社会福祉法人 虎伏学園
TEL: 073-480-1043

「家庭でも学校でもない、でも安心していられる場所」、そんな第三の居場所の存在は、家庭や学校だけでは支えきれない課題が複雑化するなかで、ますます重要になりそうです。(阪口晃彦)

初めて気持ちに余裕が生まれる子どもがスマイルテラスは単なる放課後の居場所ではなく、子どもの育みに寄り添う伴走役として機能しています。支援につながりにくい家庭が多いなか、まずは子どもが安心して通える場所をつくり、そこから家族や社会との関係づくりをゆるやかに広げていく、そんなアプローチを実践し、1日に4〜5人のスタッフが心身の成長を支えます。

日本財団による2年の助成期間が終了した2027年度からは和歌山市が県や国の補助を受け事業を継承する予定で、市としても持続的な支援体制の構築を目指しています。

日本財団による2年の助成期間が終了した2027年度からは和歌山市が県や国の補助を受け事業を継承する予定で、市としても持続的な支援体制の構築を目指しています。

日本財団による2年の助成期間が終了した2027年度からは和歌山市が県や国の補助を受け事業を継承する予定で、市としても持続的な支援体制の構築を目指しています。

日本財団による2年の助成期間が終了した2027年度からは和歌山市が県や国の補助を受け事業を継承する予定で、市としても持続的な支援体制の構築を目指しています。

日本財団による2年の助成期間が終了した2027年度からは和歌山市が県や国の補助を受け事業を継承する予定で、市としても持続的な支援体制の構築を目指しています。

日本財団による2年の助成期間が終了した2027年度からは和歌山市が県や国の補助を受け事業を継承する予定で、市としても持続的な支援体制の構築を目指しています。

みなさんの「地域を元気にする」活動を応援します！ 和歌山県 NPO サポートセンターをご利用ください

和歌山ビッグ愛9階にある和歌山県 NPO サポートセンターは、県民のみなさまの公益的な活動を総合的に応援する施設です。ご利用をお待ちしています！

ご利用いただける団体

和歌山県内で NPO 法人、NPO・ボランティア団体、公益社団・公益財団法人、一般社団・財団法人などの組織形態で、公益性のある活動をおこなっている団体。
※ ご相談や情報収集は個人・企業の方でもご利用いただけます。

ご相談

- ▶ NPO 法人の設立・運営（定款変更や事業報告、役員変更等）にまつわる実務
- ▶ NPO・ボランティア団体の運営実務
- ▶ 企業の社会貢献活動等のパートナーとしての NPO 法人等のマッチングなど

※ ご相談は、窓口・メール・オンライン等で承っています。来所の場合はご予約ください。

情報収集・発信

- ▶ NPO・ボランティア団体のイベント情報の収集と発信
- ▶ 助成金をはじめとした各種支援情報の収集と発信
- ▶ 法律で定められた NPO 法人の情報公開資料（事業報告書等）の閲覧・縦覧
- ▶ NPO 等に関する書籍貸し出し等

各種事務機器

カラー印刷機、ポスタープリンタ、パソコンなどをご利用いただけます（一部機器を除き、実費負担が必要です）。

会議室

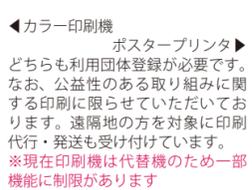
会議室を無料でご利用いただけます。
※ 会議室は和歌山県ジェンダー平等推進センター“りいぶる”、和歌山県青少年活動センターとの共用で、申込み受付と管理はジェンダー平等推進センターが担当しています。

情報ブログ・メールマガジン

当センターに届いたイベント情報や助成金等の活動支援情報はブログ、メールマガジンで発信しています。

イベント情報 助成金等情報

メルマガ配信登録はこちら



和歌山県 NPO サポートセンター

和歌山市手平 2-1-2 和歌山ビッグ愛 9 階
受付時間 9:00～20:50（日曜は 17:30）
休館日：月曜・祝祭日・年末年始
TEL 073-435-5424 FAX 073-435-5425
E-mail info@wakayama-npo.jp
わかやま NPO 広場 <https://www.wakayama-npo.jp/>

和歌山市 NPO・ボランティア推進協議会だより

まちなか百姓養成塾

日程 3月18日(水)
18:30～20:00
場所 和歌山市地域フロンティアセンター
内容 有機農法による夏野菜栽培について学びます
参加費 500円(資料代)
定員 20名
主催 わかやマイネ！プロジェクト
問い合わせは waiprojimu@gmail.com、または 090-115-6-6799

このコーナーでは和歌山市 NPO・ボランティア推進協議会加盟団体から提供されたイベント情報を不定期にお届けしています。